

アマニ豚の付加価値向上と低コスト化に関する研究

試験期間：平成24～25年度

◇ 背景および目的

畜産試験場ではこれまでに、健康嗜好に対応した良食味な**アマニ給与豚肉(アマニ豚)**の生産技術を開発したが、アマニのコストや輸入依存等の問題から農家でのブランド化が進んでいない。

そこで、県内産の飼料用米やアマニ粕をアマニ給与豚肉生産に活用することで、その生産費を低減し、通常の配合飼料と同等程度の飼料費でアマニ給与豚肉生産が可能な飼料給与技術の確立を目的とした。

アマニ豚とは・・・

- ・出荷前3週間、飼料にアマニ(亜麻の種子)を添加して給与。
- ・ α -リノレン酸(現代人の食生活で不足しがちな必須脂肪酸の一つ)を通常の3倍以上含む。



アマニ



アマニ粕

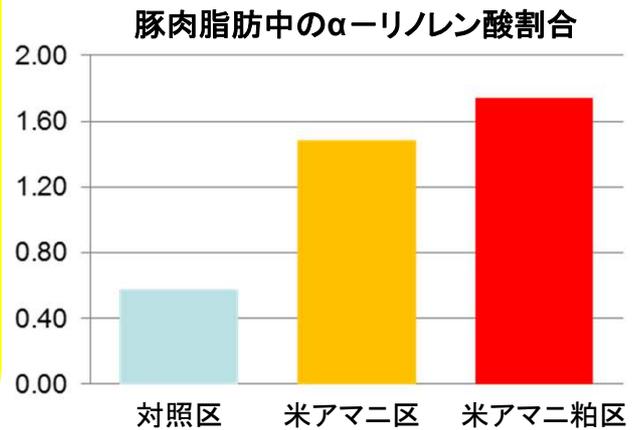
◇ 研究の成果

○飼料用米+アマニ給与(米アマニ区)、飼料用米+アマニ+アマニ粕給与(米アマニ粕区)のいずれも、 α -リノレン酸割合は通常肥育の3倍になった。



飼料用米とアマニ粕を組み合わせても既存のアマニ給与豚と同等の肉質の豚肉生産が可能。

○アマニ給与豚肉のアマニを全量アマニ粕に代替した場合、通常飼料による肥育よりも低コストで高品質な豚肉の生産が可能であることが示唆された。



アマニ給与豚肉の飼料コスト試算(と畜前3週間分、1頭当たり)

	通常飼料	従来のアマニ給与	米アマニ区	米アマニ粕区	アマニ全量をアマニ粕代替
①配合飼料	100%	95.2%	75.2%	74.6%	73.4%
②アマニ	-	4.8%	4.8%	3.2%	-
③飼料用米	-	-	20.0%	20.0%	20.0%
④アマニ粕	-	-	-	2.2%	6.6%
合計	4,043円	5,259円	4,966円	4,521円	3,628円
差額	-	1,216円	923円	478円	△415円

効果

- 秋田の未利用資源を有効に利用した秋田オリジナルの高付加価値豚肉の生産
- 低コストかつ高品質・良食味の豚肉の生産